

第61回故郷応援団～ふるさとが縁を結ぶ近畿島根県人会～ 開催のご案内

近畿島根県人会総会「^{ふるさと}故郷応援団～ふるさとが縁を結ぶ近畿島根県人会～」をご案内します。
今年は出雲地区B（出雲市・雲南市・飯南町）の企画により、島根県知事や各市町村長など故郷の皆様を囲み、和気あいあいとした憩いの場となる会を開催します。

アトラクションでは、「さだ須佐太鼓」「サクソフォンカルテット・コパン」「野見宿禰赤名相撲甚句」を上演しますのでお楽しみください！

会員だけでなくどなたでもご参加いただけますので、ご家族、ご友人お誘いあわせの上、ご参加ください。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

近畿島根県人会 会長 千家 敬磨
第61回故郷応援団実行委員長 村田 勇

～ アトラクション出演者のご紹介 ～

さだ須佐太鼓

さだ須佐太鼓は、昭和57年に出雲市佐田町須佐神社の膝元で誕生してから41周年を迎えました。新しい文化・芸能を創造する中で公演やイベントの自主開催など活動を重ね、ジュニア太鼓の結成や高校生の指導を行い、近年は年間約20回の公演をこなし、県内外並びにジャパンウィーク（アメリカ・ポーランド・ポルトガル）にも参加し、「和太鼓」を通して地域文化の振興と青少年の健全育成に努めています。令和5年を新たなスタートの年に位置付け、今後も活動を和太鼓技術の向上と郷土芸能の保存・伝承に繋げ、地域文化の活性化・後継者の育成に向けて、さらなる飛躍をめざしています。

（演奏曲）

- ◆ シマネスク太鼓 [県連盟課題曲]
- ◆ 須佐太鼓津軽
- ◆ 目田鬼面太鼓



サクソフォンカルテット・コパン

4種類のサクソスを奏でる「サクソフォンカルテット・コパン」は、2014年に結成し、まもなく10周年を迎えます。これまでに出雲大社主催「天皇誕生日お祝いの集い」での奉祝演奏や、クルーズ船「にっぽん丸」でのメインショー、2019年ラグビーW杯オフィシャルミュージシャンとしての演奏など、全国各地で幅広く演奏活動を行っています。

また、ソプラノを担当するメンバー妹尾寛子は出雲市の出身・在住でもあります。聴いてくださる方々が「笑顔になる音楽」をお届けしたいという想いで日々活動しています。（添付のプロフィールもご覧下さい）



野見宿禰赤名相撲甚句会

相撲の神様、野見宿禰を祭る神社は日本各地にあります、「ルーツは飯南町呑谷にあり」と日本書紀の研究から推定され、飯南町出生の野見宿禰の偉業を称えようと、平成23年地元飯南町の有志で結成しました。

会長は飯南町の赤穴瀬戸山城城主の末裔27代目の赤穴憲一氏で、以下10名で活動しています。全国相撲甚句大会や各会の要望に備え、日頃より練習で発声精度を練っており、令和元年には東京島根県人会でも披露しております。本業のお相撲さんに劣らない、場内全体に響き渡る洪い声で、野見宿禰にまつわる相撲甚句を披露しますのでご期待下さい。



その他

「番内」や、島根県出身で遣島使として活躍中の「X+（えくすと）」様も登場予定！

「番内」とは

正月3日、出雲市大社町の吉兆神事の先導役として「悪魔祓い」をしたのが起源とされています。近年は厄年の人が鬼の様なお面と神楽衣装を身に着け町内の家々を訪ね「あくまんばらい」と大声で叫び各家の厄を祓い幸せをもたらす、大変縁起が良い「番内さん」と呼ばれ親しまれています。

